

令和元年度第1回
多摩市国民健康保険運営協議会

令和元年5月16日(木)午後1時30分
多摩市役所第二庁舎会議室

1. 開催日 令和元年5月16日(木)

2. 会場 多摩市役所第二庁舎会議室

3. 出席者

被保険者
代表委員 大井幸夫、菱田達雄、小島 功、津布久光男

保険医薬剤師
代表委員 浅井英夫、山田政人

公益代表委員 小林信之、若林佳史、下井直毅、窪山 泉

被用者保険
代表委員 常世田薫、川又久義

事務局 保険年金課長 松下恵二

保険税担当 赤壁聡子

保険税担当 浅利守道

国保担当 坂本全史

国保担当 高橋麻智子

国保担当 星野広輝

午後1時30分 開会

○下井会長 それでは、令和元年度第1回の多摩市国民健康保険運営協議会を開催したいと思います。よろしくお願いいたします。

まず最初に、事務局の方より職員の異動の報告、よろしくお願いいたします。

○坂本国保担当 本日はよろしくお願いいたします。

本日、ちょうど午前中から多摩市議会の臨時会が行われています。先月、市議会議員選挙がありまして、通常でしたら6月が定例会ですけれども、今回、臨時会ということで開催しておりまして、少し長引いてございまして、課長のほうが戻りましたらつながりますので、それまで私のほうでお話しさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、事務局の職員に4月1日付で人事異動がありましたので、ご報告をさせていただきます。

国保担当のほうに高橋主査と、星野主事、そして、保険税担当で浅利主査が着任しております。今、浅利主査のほうも議会対応で出ておりますので、参りましたらご挨拶させていただきます。まず高橋、そして、星野のほうからご挨拶をさせていただきます。

○高橋国保担当 4月1日付で健康推進課より異動してまいりました高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○星野国保担当 同じく4月1日付でスポーツ振興課より異動してまいりました星野と申します。よろしくお願いいたします。

○坂本国保担当 よろしくお願いいたします。

○下井会長 よろしくお祈いします。

では、開会前に、会議傍聴ですけれども、どなたかいらっしゃいますか。

○坂本国保担当 本日はおりません。

○下井会長 はい。どうもありがとうございます。

では、出席状況報告について、よろしくお願いいたします。

○坂本国保担当 橋本委員より欠席の連絡が入っております。佐々部委員より遅れるという旨の連絡が来ております。

以上です。

○下井会長 はい。どうもありがとうございます。

今回の議事録署名委員ですけれども、小島委員と津布久委員、よろしくお願いいたします。

では、配付資料の確認をしたいんですけれども、事務局のほう、お願いいたします。

○坂本国保担当 では、5月10日にお送りしました配付資料を確認させていただきます。

まず資料1です。前回、平成30年度第7回の運営協議会の議事趣旨です。ホチキスどめで作られています。次に資料2です。平成31年多摩市議会第1回定例会について。こちらホチキスどめになっております。資料3、平成30年度国民健康保険特別会計3月補正予算概要。これはA4の横で1枚になっています。資料4-①と②。これは平成30年度の高摩市国民健康保険特別会計予算。これはA4の横、1枚ずつになってございます。次に資料5です。令和元年度の国民健康保険の当初予算の概要です。A4縦で1枚です。資料6-①と6-②も特別会計予算、当初予算の分がA4の横で1枚ずつあります。資料7、高摩市国民健康保険税軽減所得基準額の変更について（答申）の写し、A4の1枚でございます。資料8、令和元年度高摩市国民健康保険運営協議会のスケジュール（案）ということで、1枚お出ししております。

以上になります。

○下井会長 どうもありがとうございます。皆さん、お持ちでしょうか。

それでは、本日の予定について、事務局のほうからお願いいたします。

○坂本国保担当 本日の予定につきましては、事前にお送りしました資料を使いまして、議会報告、そして、予算の報告を行いたいと思います。最後に、令和元年度運営協議会のスケジュールについてご説明をさせていただきます。

以上です。

○下井会長 どうもありがとうございます。

それでは、早速、報告事項の①ですけれども、平成31年多摩市議会第1回定例会について、事務局のほう、お願いいたします。

○坂本国保担当 では、報告事項です。平成31年度の高摩市議会第1回定例会につきまして、資料2をもとにご説明いたします。

第1回が平成31年2月27日から3月28日まで、30日間行われました。

この第1回の定例会では、遠藤ちひろ議員から一般質問が出てございます。一つが、生活習慣病の予防につきまして。もう一つが、介護・国保・後期高齢者各会計の健幸まちづくりによる効果を見込んだ今後の会計支出予測と適正化への取り組みということで、質問ございました。

平成30年度の一般会計の補正予算と特別会計補正予算については、こちらは全議員の

賛成で成立しました。

平成31年度の特別会計当初予算、令和元年度の当初予算ですけれども、こちらは賛成多数により成立いたしました。当初予算につきましては、2人の議員からご質問がございました。質問内容は、保険税の引き上げについて、国保の構造的課題の解決と、一般会計繰り入れ増による値上げの中止。そして、特定健診の受診勧奨の工夫などについてでありました。

保険税条例の一部改正については、2月に答申いただいた内容で上程してございます。賛成多数により成立いたしました。

国民健康保険条例の一部改正についても、全議員の賛成により成立いたしました。

また、定例会におきまして2件陳情が出されました。1つが、国民健康保険税の子どもの「均等割」の軽減を求める陳情についてです。2つ目が、これ以上国民健康保険税を上げないことを求める陳情となっております。この2件につきまして、3月19日に開催されました健康福祉常任委員会において審議されましたが、審議未了となっております。

お配りした資料の3ページ、4ページについては、遠藤ちひろ議員の一般質問の内容、それに対する市長の答弁。5ページ、6ページについては、保険税条例と国保条例の一部改正の提案理由となっておりますので、後ほどご確認をお願いいたします。

以上です。

○下井会長 どうもありがとうございます。

この定例会につきまして、ご質問、ご意見ございますでしょうか。お願いします。

○津布久委員 これはこの質問と直接関係ないかもしれないんですけれども、制度的に確認なんですけど、6ページ目に出産一時金、42万円と書いてあると思うんですけれども、健保のほうの産科医療の話だと思うんですけど、国保の場合も、今、健康保険の場合は、直接病院に払ったりというようなこともやっているようなので、国保も同じようなことをやっているのかどうか教えていただければと。

○下井会長 お願いいたします。

○松下保険年金課長 そうですね。病院のほうに保険者から直接お送りをさせていただくという制度がございます。

○津布久委員 はい。わかりました。ありがとうございます。

○下井会長 どうもありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

では、あわせて、今、配付されている第1回臨時会、課長が出席されていた臨時会についてのご報告のほうをお願いしてもよろしいでしょうか。お願いいたします。

○松下保険年金課長 本日は遅れまして申しわけございませんでした。本日、令和元年の第1回臨時会が今、開催されておりまして、そちらのほうに出席しておりましたので、遅れて大変恐縮です。

今お配りさせていただきました資料9の中で、こちらにつきまして、2月に諮問をさせていただきました税制改正による部分になりますが、本日の臨時会におきまして、この保険税条例の一部を改正する条例について市長専決をさせていただいたという報告をさせていただきました。

内容につきましては、資料7をご覧くださいなのですが、こちらは2月に諮問をさせていただきましたまして、3月8日付で答申をいただきました多摩市国民健康保険税課税限度額及び軽減所得基準額の変更についてということで答申をいただいておりますが、こちらの内容で議会のほうに報告をさせていただきましたまして、今、全議員賛成ということで成立してまいりました。

第1回臨時会についての報告は以上になります。よろしくをお願いいたします。

○下井会長 どうもありがとうございます。では、この定例会、臨時会あわせて、ご質問、ご意見ございますでしょうか。

では、特にないようでしたら、次の②の平成30年度の特別会計補正予算に入る前に、お見えになった浅利主査のご挨拶をお願いしてもよろしいでしょうか。お願いいたします。

○松下保険年金課長 4月1日付で人事異動がございまして、これまで保険税担当主査ということで伊野がお世話になっていたんですけれども、4月から浅利が担当主査で着任しましたので、ご挨拶をさせていただきたいと思っております。

○浅利保険税担当 4月に異動になりました保険税担当主査の浅利守道と申します。よろしくをお願いいたします。

○下井会長 よろしくをお願いいたします。

○松下保険年金課長 ありがとうございます。

○下井会長 では、引き続き、それでは、②のほうの平成30年度国民健康保険特別会計3月補正予算、これは資料3になりますでしょうか。これのご報告をお願いいたします。

○坂本国保担当 それでは、報告事項②です。平成30年度国民健康保険特別会計の補正予算です。使います資料は、資料3、平成30年度の国民健康保険特別会計3月補正予算

概要。A4の横になります。それと、資料4-①のほうが予算の一覧表、歳入です。②のほうが一覧表の歳出です。これも横版になっていますので、見てください。本日は資料3のほうを中心にご説明させていただきます。

年度末に当たり、決算見込みに基づきまして、総額を158億9,927万4,000円としております。

資料3の上半分のほうに目を向けてください。1番が平成30年度3月補正の概要。その下が歳入となっておりまして、一番上の表になります。

歳入につきましては、当初予算と比較しまして、大きな要因としまして、被保険者数は減少していること。また、加入者の約45%を占めています65歳から74歳の前期高齢者の1人当たり医療費の伸びが対前年度と比較しまして減少していましたことから、これらを反映させまして、総額で3億6,563万4,000円を減額いたしました。

主なものとして、表の上のほうから行きますと、第1款の国保税につきましては、5,690万8,000円を減額しました。また、下のほうに行きまして、都の支出金。こちらは歳出側の保険給付費を減額することに伴いまして、3億1,657万7,000円を減額しました。そのほかに11款の繰入金につきましても、これは事務経費の関係で、契約差金であるとか人件費の減分、それと出産育児一時金の繰入金。予定よりも出産数が少ないということで減額補正を計上している形で、それに伴いまして、6,044万5,000円を減額いたしました。

歳入については以上になります。

次に、歳出です。資料3の真ん中の表になります。大きいところでは、上のほうから行きますと、第2款の保険給付費です。3億5,547万8,000円を減額しました。そのほかでは、一つ上、総務費。763万7,000円と、真ん中に行きまして、保健事業費251万9,000円を減額しました。

2款の保険給付費につきましては、こちらは前年度並びに本年度の執行状況等から今後の執行見込みを精査いたしました結果、やはり被保数が大きく減少していることと、レセプトを分析したところ、80万円以上の高額レセプトの伸びが大きかったもの、調剤医療費の減が大きかったため、トータルとして総額で減少いたしました。

平成31年の1月にこちらは積算をしていますけれども、そのときの医療費の状況につきまして申し上げますと、平成30年の4月から10月までの対前年の同期比で比べますと、1人当たりの費用額の伸びで、若年者、0から39歳でマイナス8.4%。70から7

4歳でマイナス11.9%。全年齢区分を平均してもマイナス2.8%の減額でございました。レセプトの件数の伸びも、医科の外来でマイナス0.5%、歯科でマイナス0.2%、医科の入院でマイナス1.6%、調剤でマイナス1.4%と、全区分を平均しましてもマイナス0.5という状況でした。

医療費の種別の費用額は、調剤でマイナス10%と大きく減少しまして、全区分を平均してもマイナス0.5%でありました。

金額区分別で見たときも、レセプト件数でいくと、80万円超の高額のレセプト、こちらは大体8%~9%伸びているのが見られますが、3万円超で30万円以下がマイナス5%、30万超80万以下でマイナス0.9%。費用額も80万超だと5%~6%の伸びはあるんですけども、3万円超30万円以下、マイナス3.1%、30万超80万以下でマイナス1.2%という傾向が見られまして、このような医療費の状況を踏まえまして、保険給付費を減額いたしました。

歳入については以上になりますので、資料4は後ほど確認してください。

以上です。

○下井会長 どうもありがとうございます。

ご質問、ご意見ございますでしょうか。お願いします。

○川又委員 今、医療費が減っているというパーセントを言ってましたが、それは総額で対前年度比として減っているんですね。

○坂本国保担当 はい。そうです。

○川又委員 1人当たり医療費というのはどうなんですか。対前年と比べると。

○坂本国保担当 年齢区分別で異なります。多摩市の特徴で、前期高齢者の医療費が他市より低めというのが見られます。

○川又委員 じゃあ、1人当たりも減っているということですか。

○坂本国保担当 そうです。

○川又委員 でも、加入者は減ったとしても、1人当たりを比べると、1人にかかっている医療費が去年幾らでしたと、今年幾らでしたと比べると上がっているんじゃないかなと思うんですけど。

○坂本国保担当 そうですね。年齢区分によって重症化が見られる区分は確かにございますね。

○川又委員 ありがとうございます。

○下井会長 ありがとうございます。

ほかに、お願いいたします。

○津布久委員 プライバシーに触れるところはいいんですけども、1人頭で大体、例えば500万とか使っていて、限度額が8万幾らぐらいだから、1人について400万ぐらい使っているとかというデータというのはあるんですか。例えば1人について最高どのぐらい支出しているのかなと思って。そういうのがわかれば。もしわかればなんですけども、記憶の範囲内でも。

○坂本国保担当 今日は特にデータ等は持っていません。

○松下保険年金課長 年間を通してのデータというのはおそらくないかと思うんですけども。

○津布久委員 年間通して、すごくかかっている。

○松下保険年金課長 ただ、高額レセプトで1,000万を超えるような、1カ月で1,000万円を超えるような特殊な。難病の方ですけども。

○津布久委員 ええ。難病の方で。

○松下保険年金課長 やっぱりそういう方はいらっしゃいますね。

○津布久委員 それは多摩市で複数人いらっしゃるんですか。

○松下保険年金課長 複数人。はい。

○津布久委員 ああ、そうなんですか。いや、実情がどうなのかなと思って、具体的にお聞きしておくチャンスがなかなかなかったものですから。

○坂本国保担当 人工透析とかやっているとやっぱり高いですね。あれは継続してかかっているのと、本人負担が、所得によりますけど、月で1万円で抑えていますので、残りは全部、保険給付分と、あと現物給付とか充てていきます。

○津布久委員 3割負担といえども、限度額からオーバーしたら全部国保のほうで払うんですね。

○松下保険年金課長 はい。

○津布久委員 そうですよ。わかりました。ありがとうございました。

○下井会長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

○川又委員 健保で、うちは健保組合ですけどね。大体1,000万、2,000万はざらにあるんですね。健保連全体、要は、健保連と国が全体、国の健保全体でいきますと1億

円というのものもある。1カ月ですよ。1カ月の医療費が1億円というのもゴロゴロ出ています。1,000万というのはふだんで。結局、病気で一番多いのは血友病ですよ。高額の医療費は血友病が一番多いですね。ただ、1,000万、2,000万が月、1カ月間かかっちゃうと健保ではアウトになりますよね。そんな感じですね。

○下井会長 なるほど。ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。お願いいたします。

○常世田委員 今、うちの例を言うと、大体白血病の方だと、今、生体肝移植すると大体年間五、六千万。それで、がんの方もいらっしゃるんですけど、がんの方は大体一、二カ月ぐらいで対象の方がいらっしゃるんですけども、そういう方は大体二、三百万。がんが1年間ぐらい投与しちゃうと1,000万。それであと、おっかないのは、一発で脳の疾患とか心疾患で担ぎ込まれると、それが一発で500万とか。こんなイメージですね。大体それがばらついて、どのくらい発生しますかと、そんなイメージだと思いますけど。

○津布久委員 ありがとうございます。

○下井会長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

済みません。私のほうから。この歳入のところの、資料3の表の歳入の1の国民健康保険税のところなんですけど、これは増減要因のところ徴収率とありますけど、この（現年93.12%、滞納28.78%）とあるんですけど、これは人数ベースですか。金額ベースになるんですか。滞納28.78%というのもちょっと。まあ、多いかなと思うんですけど、これは金額ベース。

○松下保険年金課長 そうですね。調定額ベースになります。

○下井会長 これは滞納、93.12、まあ、残り7%弱ぐらいがとれていないというのと、滞納というのはこれは。滞納もこれは徴収したことになって入るんですか。

○松下保険年金課長 はい。滞納の部分につきましては前年から、前年以降の部分ですね。現年以前の部分の滞納繰り越し分の調定額に対しての27.8%というような形になっています。

○下井会長 なるほど。わかりました。同じ年じゃないんですね。

○松下保険年金課長 そうですね。

○下井会長 それで足して100にならないんですね。積み上げが。

○松下保険年金課長 そうですね。はい。

○下井会長 わかりました。

済みません。ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。

それでは、③に行きまして、令和元年度の国民健康保険特別会計当初予算について、これは資料5と資料6-①、資料6-②になっておりますけれども、これに関するご説明、お願いいたします。

○坂本国保担当 では、次第の報告事項2の③です。令和元年度国民健康保険特別会計の当初予算です。使います資料は資料5です。令和元年度の特別会計予算の概要、A4の縦です。資料6-①がその歳入、②が歳出になりますので、6のほうは後日見てください。資料5を中心にご説明をいたします。A4の縦のものになります。

令和元年度の当初予算は155億8,314万9,000円で、平成30年度の当初と比べますと、2億129万円の減額で計上しております。

歳入は、資料5の上の表になります。当初予算につきましても、引き続き被保数の減少の傾向は続いておりますということと、保険税率、改定いたしましたものの税収は減っていると。都支出金は保険給付費の減により減額している状況になっております。

歳入につきまして、主なものとして、上の表の上から行きますと保険税があります。こちらは税率改定で増額するよりも、被保数の減により税収減が上回ってしまうために、やはり前年度の当初と比較すると1億1,389万円の減額で、28億7,531万5,000円を計上しました。

また、国庫支出金、上から3番目。こちらは東日本大震災関連の臨時特例補助金というのがございまして、これのみの計上になっております。金額は29年度の決算額で計上しましたので、前年度よりも積算が違っていますので、減額になっています。

その下ですね。都支出金です。都支出金は制度改正によって、年度の葬祭費と出産一時金とレセプト審査手数料のうちの事務費相当分を除いた保険給付費の全額を都道府県から交付される形になっておりますので、これを106億6,766万9,000円を計上しておりますが、前年度と比較しまして、被保険者数の減少とともに保険給付費も減少しているために、マイナス1.8%としております。

その下の繰入金です。繰入金につきましては、今年度、保険証の一斉更新の年度に当たりますので、それにかかる経費の事務費繰り入れが増となっていることと、前期高齢者交付金の精算。29年度の2年後の31年度に来ますので、この部分を基金繰入金から賄うという形で、そこが増になりまして、前年度と比較しまして、1億983万増の20億1,

686万1,000円を計上いたしました。

歳入のところは以上です。

次に、歳出です。資料5の真ん中の表になります。大きいところでは保険給付費、こちらもあり被保数の減というところで、平成30年度と比較しまして、1億3,582万7,000円減の105億6,889万2,000円を計上いたしました。平成30年度のレセプト状況も、先ほどちょっと補正のところでご説明しました形になっておりますので、30年度と比較すると減少という形になります。

そして、歳出のほうは、上から3番目の国保事業費の納付金です。こちらもあり被保数の減等もありますので、前年度比でマイナス1.6%と。7,149万4,000円の減額で、44億9,867万2,000円としております。

その下、保健事業費につきまして、こちらは対象者数の減、被保数が減になりますと、こちら前年度当初と比べますと、830万7,000円減の1億9,033万6,000円を計上しております。

資料5の一番下の表は、一般会計繰入金という項目の内訳になってございますので、後で見てください。

当初予算については以上です。

○下井会長 どうもありがとうございます。

ご質問、ご意見ございますでしょうか。

特にないようでしたら、じゃあ、報告事項の4番目になりますけれども、資料8の令和元年度多摩市国民健康保険運営協議会スケジュール（案）についてということで、お願いいたします。

○松下保険年金課長 お配りさせていただきました資料8をご覧くださいと思います。こちら、令和元年度の国保運営協議会のスケジュール（案）ということでお示しをさせていただいております。

今年度につきましても、例年どおり第3木曜日に開催させていただければと考えております。第2回を7月18日に開催し、以降、このスケジュール（案）のように進めさせていただければと存じます。今年度の主な内容といたしましては、第4回の11月ですね。こちらのほうにまた例年どおり保険税率の見直しを諮問させていただきまして、第6回、1月16日予定の運営協議会で答申案の一定の取りまとめをしていただければと考えております。

以上でございます。

○下井会長 どうもありがとうございます。

これに関して、ご質問、ご意見ございますでしょうか。

第3木曜日ということをお願いいたします。

それでは、その他ということ、その他、事務局のほうで何かございますでしょうか。お願いいたします。

○松下保険年金課長 前回の運営協議会のほうに、国保財政健全化計画の変更という形でお話をさせていただいたんですけども、こちらは第2期国保運営指針に示した解消すべき赤字額を盛り込んだ計画書を東京都に提出いたしまして、東京都との協議を経まして、変更計画のほうが承認されましたので、ご報告させていただきます。どうもありがとうございました。

あともう1点ですね。次回なんですけれども、7月18日に運営協議会を開催させていただきたいと考えております。

以上です。

○下井会長 どうもありがとうございます。

何かご質問、ご意見ございますでしょうか。お願いいたします。

○津布久委員 済みません。幾つかいいですか。先ほど説明にはなかった資料で、資料6-①なんですけど、参考に教えてもらいたいですけれども、いわゆる右端の一番下のほうに歳入合計というのがあって、当初予算、これだと155億8,000万の隣、30年度予算が157億で、29年度決算がこれは60億ですか。桁が随分違うので、29年度、60億の決算が30年度の予算ではこれは157億になったんですか。何か理由がわかれば。済みません。

○松下保険年金課長 済みません。こちらは東京都の、左の部分になるんですが、7款都支出金とあるんですが、こちらは保険給付費等交付金というのがございまして、平成30年度からの制度改革によりまして、従来までは多摩市が医療機関に保険給付費を支払っていたんですけども、その制度改革によって保険給付費については東京都が全て持つという形になりますので、東京都から保険給付費交付金として、歳入として入ってくるという形になります。

○津布久委員 母体が違ったんですね。

○松下保険年金課長 そうですね。

○津布久委員 ありがとうございます。あんまり数字が違ったので、何でだろうなと思って。済みません。ありがとうございます。

○下井会長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

○常世田委員 済みません。今の資料6-②で、3款の3というのがあるんですが、実は介護納付金、これは介護納付金自体はまた別の制度になっていると思うんですけども、介護納付金のほうですね。健康保険組合のほうではちょっと、支払基金のほう、予算の設定が間違っていて大騒ぎになっちゃったんですけども、そういった影響というのは特にこちらにはないということですか。この3のところには大丈夫ですという。

○松下保険年金課長 そうですね。支払基金の積算ミスで200億というのが財源不足になるということなんですけれども、市町村国保については、その係数に誤りはなかったもので、こちらのほうには影響ございません。

○常世田委員 よかったですね。じゃあ、ここの予算のここの納付金の相当分にも特に影響はないので大丈夫ですよという、その確認です。

○松下保険年金課長 そうですね。はい。

○下井会長 ありがとうございます。

じゃあ、浅井先生。

○浅井委員 ちょっと確認なんですけれども、今後の保険税のこの運協の協議会のスケジュールにおいて常に出てくると思うんですけど、この資料5の裏側にある「多摩市国民健康保険の動向等」という、これが最新の我々多摩市の国保の動向と考えてよろしいわけですよ。じゃあ、これを頭に入れて今後協議していくと、これが大前提になると考えて。

○松下保険年金課長 はい。

○浅井委員 わかりました。

○下井会長 ありがとうございます。

お願いいたします。

○津布久委員 済みません。今の浅井先生のご質問で関連してなんですけど、これはちょうど線が引いてある2行目に、「調剤と歯科が減少した」と書いてありますけれども、歯科の減少というのは何か、例えば小学校のころから、虫歯の子が少なくなったとか、子供が減ったのはわかっているんですけど、何かそのほかに。我々のときには何かフッ素、フッ素という話をしていたんですけど、今、現況を存じ上げないので、浅井先生のほうがよく。

○浅井委員 いやいや、そんな大局的な話ではなくて、分析されていると思うんですけど、もちろん虫歯の減少はもうかなり顕著なんですけれども、歯周病が増えているし、今、予防に、一般と同じかもしれないんですけど、予防のほうに歯科もシフトしていますので、減少幅はすごい少ないと思うので、減少したと言っても、パーセント的には少なく、レセプト的にはそんなには変わってないと思いますね。受診者数もほとんど変わってないし。

○津布久委員 ああ、そうなんですか。

○浅井委員 ええ。歯科のほうは、虫歯は減少しているけれども、学童の生徒の数は、私、学校保健会のほうもやっているんで、もう顕著に減っておるんですけども、中高年を対象としたそういう歯周病のほうはまだまだ医療費はかかっているのが現状です。

○津布久委員 いや、「調剤と歯科」と特にここに限定してあったので、何かそれは特別な理由があるのかなど。ありがとうございました。

○下井会長 そうですね。書いていますものね。虫歯の子が減っているというのは、やっぱり歯をよく磨く子が増えたということですか。

○浅井委員 そうですね。もうかなり、ここ20年で。まあ、ここで話すことじゃないのかもしれませんが、DMFTという指数が減ってまして、もう市長含めて大変喜んでいきます。教育委員会をはじめとする、そういう啓蒙活動は積極的に。

○下井会長 ありがとうございます。

ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。

○松下保険年金課長 ございません。

○下井会長 これで国保協議会、終わります。どうもありがとうございました。

午後2時08分 閉会

上記議事録は事実と相違ないことを認めここに署名する。

多摩市国民健康保険運営協議会 会 長

委 員

委 員